2025 年度 第２号

(通算 第８号)

発行月 2025 年 11 月吉日

発行部署 技術技能ラーニングセンター 技能専修学園

発行人 田辺 祥士

豊田自動織機

Link

～つなぐ佐吉翁の精神　つながる人の絆～

学園長　ご挨拶

学園長
田辺　祥士

　平素は技能専修学園の取り組みにご理解ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。
学園訓練は既に７ヶ月が経過し、基礎技能を磨きながら、「腕・知恵・心」を備えた現場の核となる人材を目指して日々訓練に励んでおります。

　初めての取り組みとなる学園生ご家族向け見学会を開催しました。この見学会はご家族の安心だけでなく、学園生自身のさらなる意欲向上にもつながるものとなりました。

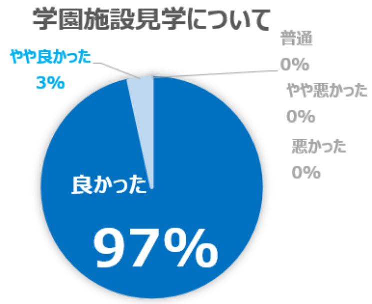
　今後の実技訓練でも挑戦を続け、更に成長してくれると確信しています。
引き続き皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

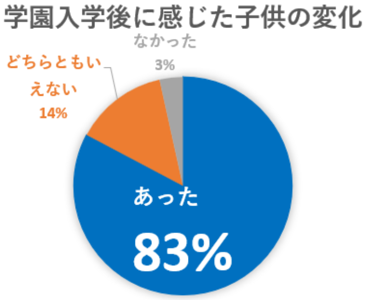
　また先日、地元愛知で開催された技能五輪全国大会では素晴らしい成績を収めることができました。選手本人の努力はもちろんですが、コーチ・スタッフとこれまで技能五輪に関わって下さった諸先輩方のお蔭であり、深く感謝申し上げます。

ご家族見学会

　11 月 3 日、技能専修学園開設以来初の試みとして、学園生のご家族を対象とした見学会を開催しました。東北や九州など遠方からもご参加いただき、29 家族 57 名の大規模な見学会となりました。当日は、学園生の訓練の様子の見学に加え、食堂での昼食体験、学園生が暮らす寮の見学も行いました。参加されたご家族の皆様からは、「充実した内容でとても良かった」「子供が離れて暮らして不安だったが、話しを直接聞かせてもらい、安心できた」など温かいお言葉を多数いただきました。

★アンケート　結果





★アンケート　コメント

【学園見学】

・子供から話を聞いて想像していたのとは、かなり違いがありました。やはり百聞は一見にしかずだと思いました

・子供と初めて離れて暮らすことになって半年以上が経ち、今までずっと、とにかく心配が尽きませんでしたが家族参観で色々と見学させていただき、明るく元気に実習を頑張っている様子を見て安心できました。

【学園入学後に感じた子供の変化】

・学園のことなど自分から話をするようになり、笑顔が増えました。色々なことに感謝するようになりました。

・家に帰って来た時に自らお手伝いをし、食事も栄養を考えながら食べるようになり、自立してきたと感じます。

【齊藤さん】 愛知県に来るとき「頑張ってきて」と送り出してくれた言葉が心の支えになっています。家族見学会では少しでも成長した姿を見せることができ、改めて家族の温かさを感じました。

【新田さん】 親元を離れ自分で色々なことをするようになり、今までの当たり前が当たり前でないことに気づきました。実習をしている姿を見てもらい、成長したところを見せることができて良かったです。

7月～１０月の主な行事

愛知県事業内職業訓練生体育大会(7/3･7/4)全豊田訓練生総合競技大会(9/4)

各企業の訓練生がトヨタスポーツセンターに集い、両大会が盛大に開催されました。「愛知県事業内職業訓練生体育大会」での厳しい結果を踏まえて挑んだ「全豊田訓練生総合競技大会」は、台風の影響により二日目が中止に。その中でも、学園生たちは果敢に競技に挑み、これまでの努力の成果を存分に発揮。各種目において優れた成績を収め、織機学園の熱い闘志を見事に体現しました。

★大会結果

【愛知県事業内職業訓練生体育大会】

・ソフトボール　第３位

・ソフトテニス（個人）新田さん、野口さんペア　第３位

【全豊田訓練生総合競技大会】

・陸上

男子 1500m　稲生さん　優勝　　　男子 4×100m リレー　荒木さん･高田さん･小牧さん･稲生さん　優勝

男子 400m　小牧さん　準優勝　　　男子走幅跳　高田さん　準優勝

・ソフトテニス団体　準優勝　　　・ソフトボール　３位

・大会テーマ　小林さん　銀賞

「熱き思いで　心震わせ　全てを出し切れ　ALL TOYOTA」

【小牧さん】 陸上競技に出場して、個人種目では限られた練習時間の中でも自分の限界に挑み、小さな努力を積み重ねることが結果に繋がると実感できました。リレーではメンバーの半分が陸上未経験の中、コミュニケーションを取り切磋琢磨することで信頼が生まれ、全員で勝利をつかむ喜びを味わえました。特にリレーではアンカーを任されたため、全員の努力を無駄にしてはいけないと強く感じ、責任感の重要さも学びました。

学園駅伝(10/17)

あいち健康の森公園にて、熱気あふれる班対抗学園駅伝大会が開催されました。この日に向けて、学園生たちは自主的に練習を重ね、準備を万全に整えて本番を迎えました。激走の末、見事に勝利を収めたのは６班でした。次なる舞台は 12 月に行われる「愛知県事業内訓練生駅伝大会」。選抜された精鋭たちは、仲間とともに栄冠を掴む決意を胸に、さらなる鍛錬を積み重ねていきます。

【和田さん】 目標タイム達成のため就業後に班全員で集まり自主練習を行いました。班の一体感を醸成し、団結力を高めることでそれぞれのメンバーが目標達成し、見事優勝できました。

【三輪さん】 持久走訓練で鍛えた体力と心身訓練で培った継続力。それに加え「仲間にタスキを繋ぐんだ」という気持ちと、みんなの応援に支えられて辛くても最後まで走り切ることができました。

心身訓練（長距離歩行・登山）(10/30・10/31)

当学園(大府市)からつどいの丘(豊田市)までの 38km を踏破する長距離歩行と、登山(猿投山)の訓練を実施しました。初日に長距離歩行を行い、つどいの丘で宿泊。そして二日目には登山へ挑戦。厳しい行程の中、助け合い励まし合いながら全員でゴールを目指すことで、体力を鍛えるとともに最後まで諦めない精神力を養いました。仲間との絆をより一層深める貴重な経験となりました。

【藤井さん】38km の長距離を歩く中で何度も諦めそうになりましたが、仲間と声を掛け合い、励まし合って全員でゴールできました。これからもお互いに切磋琢磨して学んでいきます。

【坂野さん】「もう無理、登りたくない」と思った時、チームメイトが最後までずっと背中を押してくれました。ゴールの後はやり遂げた達成感と感謝の気持ちで涙が溢れ、仲間との絆の深さを感じました。

半年間の訓練で成長を感じたこと

【野口さん】7 月の大会は団体戦が初戦で負けて悔しい結果に終わり、次こそは優勝するべく 9 月の大会に臨みました。惜しくも準優勝でしたが仲間との絆が深まった最高の大会でした。キャプテンとして大変なことはありましたが学園のうちにしかできない貴重な経験になりました。

【神野さん】班で行った歩行ラリーや駅伝大会ではお互いに励まし合い、支え合うことで最後までやり切ることができた経験は、自分一人では得られない達成感につながりました。仲間と一つのことに全力で取り組む事で協調性や精神面の成長を感じることができました。

【堀さん】仕事に対する意識や行動で成長することができました。初めの頃は言われたことをこなすだけで精一杯でしたが、今では自分から次の作業を考え行動できるようになりました。特に整理整頓を習慣化することの大切さを学びました。今後もより自分を成長させていきます。

【神田さん】今までは失敗することに対する恐怖心から前に出て行動してきませんでした。指導員から「成長するには失敗する覚悟を持つことが大切だ」と言葉を頂いてからは考え方が変わり、以前とは比べ少しずつ前に出て行動したり、挑戦できるようになりました。

【平岡さん】学園に入る前は人前に出ることが苦手でした。半年間仲間と共に心身訓練や色々な活動を積極的に取り組むことで周囲を見る力が身に付き自然と周囲を引っ張っていけるリーダーに近づけていると感じます。残りの訓練も仲間と共に乗り切り切磋琢磨していきます。

【藤原さん】初めてスピーチ訓練をした時は落ち着いて話すことができず、決められた時間も達成できませんでした。ですが、何度もスピーチ訓練や学園内体験発表会を行うことで今では落ち着いて人前で話せるようになりました。これからも現場の核となる人材を目指し努力を続けていきます。

【木全さん】苦手なことが多く、最初は辛くて諦めかけていたこともたくさんありました。しかし、練習を繰り返してできるようになったことで成長を感じ、一度は「できない」と思ったことでも挑戦するようになりました。これからも何事にも挑戦を忘れずに頑張っていきます。

【鈴木田さん】今までの私は緊張で人前に立つことができませんでした。しかし、スピーチ訓練や規律訓練を通して積極的に人前に立てるようになったことが、半年間の訓練で成長を感じたことです。これからも今まで以上に人前に立って話せるように努力していきます。

【編集後記】初の試みとなった 11/3 の見学会には、多くの方にご参加いただき誠にありがとうございます。急遽行った福利厚生のご紹介についても皆様から好評をいただき、安心いたしました。また、アンケートでは沢山のコメントをいただき大変嬉しく感じております。皆様にご興味を持っていただける内容でしたので、次年度はさらに充実した見学会となるよう、改善に取り組んでまいります。

お問合せ先：
(株)豊田自動織機　技術技能ラーニングセンター
技能専修学園　学園グループ　担当：新美
〒474-0035　愛知県大府市江端町 3-217
TEL：0562-48-9706　FAX：0562-48-9742
E-MAIL：gakuen@mm.toyota-shokki.co.jp

【ご意見・ご感想はこちらから】